



# オアシス

文責：学長  
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2025年8月7日発行 第82号

今年は6月には梅雨が明け、突然猛暑が始まり各所で暑さ対策に右往左往することが続いているようです。報道では、河川のダム湖の水不足が深刻化している様子が伺え、我が家でも箱庭の水やりも鉢物を中心に枯れない程度に散布したり、車の洗車も控えているところです。私がか子供の頃は気温が体温と同じようになることはまずなく、エアコンもない生活でしたが、毎日屋外で遊んでいたことが思い出されます。気候変動の影響が年々深刻化しており、地球に対する人間の行いのツケが跳ね返ってきているようで心配されるところです。

## 先ごろの振り返りです！

### ● 第27回定期演奏会の様子！

7月20日、出雲市民会館にて1,000人近いお客様を迎えて盛大に開催することが出来ました。前半のマスカーニ作曲の歌劇《シルヴァーノ》は、埋もれていた作品とは思えないほど旋律が美しく、出雲の地で日本初演として上演されたことは、歴史に刻まれる事であり、誇らしく感じました。中井芸術監督を中心にピアノ譜からオーケストラ譜面の点検作業が思いのほか大変であったようで、本番の前日まで修正が行われていたことも、成功裏に終わったことで報われたことと思います。

私も副学長と共に合唱団に駆り出され、イタリア語に苦戦しながらもステージに上げていただき、オペラの魅力をより身近にかつリアルな体験は忘れられない出来事となりました。

後半は交響楽で、J. シュトラウス2世作曲の喜歌劇《ジプシー男爵》入場行進曲、A. ドボルジャーク作曲のチェロ協奏曲、R. ワグナー作曲の楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》第1幕への前奏曲の3曲を熱演いたしました。私は、チェロ協奏曲はレコードやCDでたくさん聴いてきました。発売されている音源は過去に録音された名演が多いわけですが、ホールで生演奏を聴いたのは初めてでした。チェロ1本でオーケストラを率いる弦の迫力！ その凄い技を目の当たりにしました。

話題は変わって、「LPレコード音楽サロン」を2021年の6月から偶数月に始めました。お陰様で4年が経過しましたが、参加者は常連さんが定着してきています。その常連さんたちもレコードの名演を聴きに楽しみにしておいでですが、以前に出雲フィルの公演にお誘いをしてみました。なかなか会場に来ていただくことはありませんでした。それでもあきらめずお誘いをしたら、昨年お一方来ていただいたのです。その方は、世界のオーケストラの来日公演は、遠方でも聴きにいかれるクラシック音楽ファンです。公演後感想を聞くと「意外と素晴らしかったです…。」「ムム！意外とはよけいでしょう…」と思いましたが、世界の三大オーケストラと出雲の市民オーケストラを比べることはタブーですから反論は

できません…。しかし、先日の公演にもその方は来ていただき、公演後「このこのこんところが良かった！」と満面の笑みを浮かべながら話してくださいました。そして、もう一人LPレコードの常連さんが生演奏を堪能されたことは、意義のあることと受け止めています。

コンサートマスターの高畑さんから聞いたことがあります、欧州にはどんな小さな町でも必ずホールとオーケストラがあるそうです。そして、市民の皆さんはわが町のオーケストラをととても大切にすることが文化を定着させ、それが誇りなのだと言っていました。

その一歩が先程の LP レコード音楽サロンの常連さんが例え二人でも市民オーケストラの公演に来場くださり、喜んでいただいたことが、「音楽のまち出雲」の文化の発展につながっていくのではと思いました。何事も諦めずに呼びかけていくことが大切なんですね…。

定期演奏会の振り返りに私見が多くなりましたが、今回の公演はクオリティーが高く言葉にならないほど感動させていただきました。オペラの4名のキャストの皆さん、チェロ協奏曲の独奏者をはじめ、多くの皆さんのご賛同をいただき、出雲市民の皆様に総合舞台芸術やフルオーケストラの醍醐味を味わっていただくことが出来ました。

## ● ミニコンサートが目白押し！

7月中に3つのミニコンサートが開催されました。

### ①マイキーと iPhil チェンバークインテットによる市役所ロビーコンサート！

市役所のロビーで行われる恒例のコンサートです。今回はマイキーと iPhil の弦楽器4名 (Vn、Va、Vc、Cb) によるアンサンブルを披露いたしました。市役所のロビーという環境で気軽に聴けるプログラムが多い中、バッハやヘンデルの本格的な曲目も選曲されていました。市役所の昼の一時を格調高い演奏と共にやすらぎの場と化していました。

### ②出雲 Jr.フィル OBOG アンサンブルによるチャペルコンサート！

今回の定期演奏会に本アカデミーで学んだたくさんの OBOG が参加してくれました。この機会に弦楽器の皆さんが自主的にミニコンサートを計画され、教会を会場に開催いたしました。弦楽二重奏から弦楽四重奏、弦楽八重奏と幅広いアンサンブルを披露してくれました。大学生からフリーアーチスト、企業人と様々な立場の人たちが久しぶりに再会し、アンサンブルの楽しさを十分に発揮され、観客の皆さんを魅了していました。このような機会をこれからも盛んに行っていただき、音楽の潤いを出雲の地にたくさん届けてほしいものです。

### ③マイキーと iPhil チェンバークインテットによるサロンコンサート！

先に行われた市役所ロビーコンサートの第2弾として、会場をナザレン教会に場所を変え開催されました。第1弾の市役所ロビーコンサートプログラムにトロンボーンとソプラノ歌手による曲を加えてボリュームがアップされ、一段と充実されたコンサートになりました。第2弾という事もあり、演奏も洗礼され息もぴったり！ クラシック音楽だけでなくグレン・ミラーの曲「ムーンライト・セレナーデ」を弦楽アンサンブルとトロンボーンの甘い音色で観客をうっとりさせていました。また、歌曲を弦楽アンサンブルの背景にソプラノ歌手が朗々と逢いあげるなど教会という雰囲気とも相まって、観客の皆さんは多彩なプログラムに酔いしれているようでした。

その他にもマイキーは、教会のミサにバイオリンで参加されていることをお伝えします。

# フォトギャラリー

## ◆第27回定期演奏会の様子！





◆各種ミニコンサートの様子！

